

## ～ 口座振替システム運用マニュアル ～

本資料では、新利用者請求システムに対応した『口座振替システム』について、導入から運用にいたる全体の流れをご説明いたします。

### ・ 目次

#### 1. 仕様

<1>口座振替システム概要	2
---------------	---

#### 2. 画面構成

<1>トップ画面の画面説明	3
<2>画面関係図	4

#### 3. 導入編

<1>利用者口座情報の登録	5
<2>取引先口座の登録	7
<3>契約口座の登録	8

#### 4. 運用編

<1>請求データの取込	9
<2>媒体出力	11
<3>振替結果入力	12
<4>確定処理	14
<5>入金処理	15

#### 5. 補足

<1>振替データの個別編集	16
<2>振替不能分の再振替	18
<3>口座振替対象/口座振替対象外の設定	19
<4>旧口座情報からのデータ移行	21

# 1. 仕様

## 1-1口座振替システム概要

口座振替システムでは、振替データの作成から領収書作成（入金処理）まで、当該システムで行なう事が可能です。出力形式は以下の3タイプに対応しております。

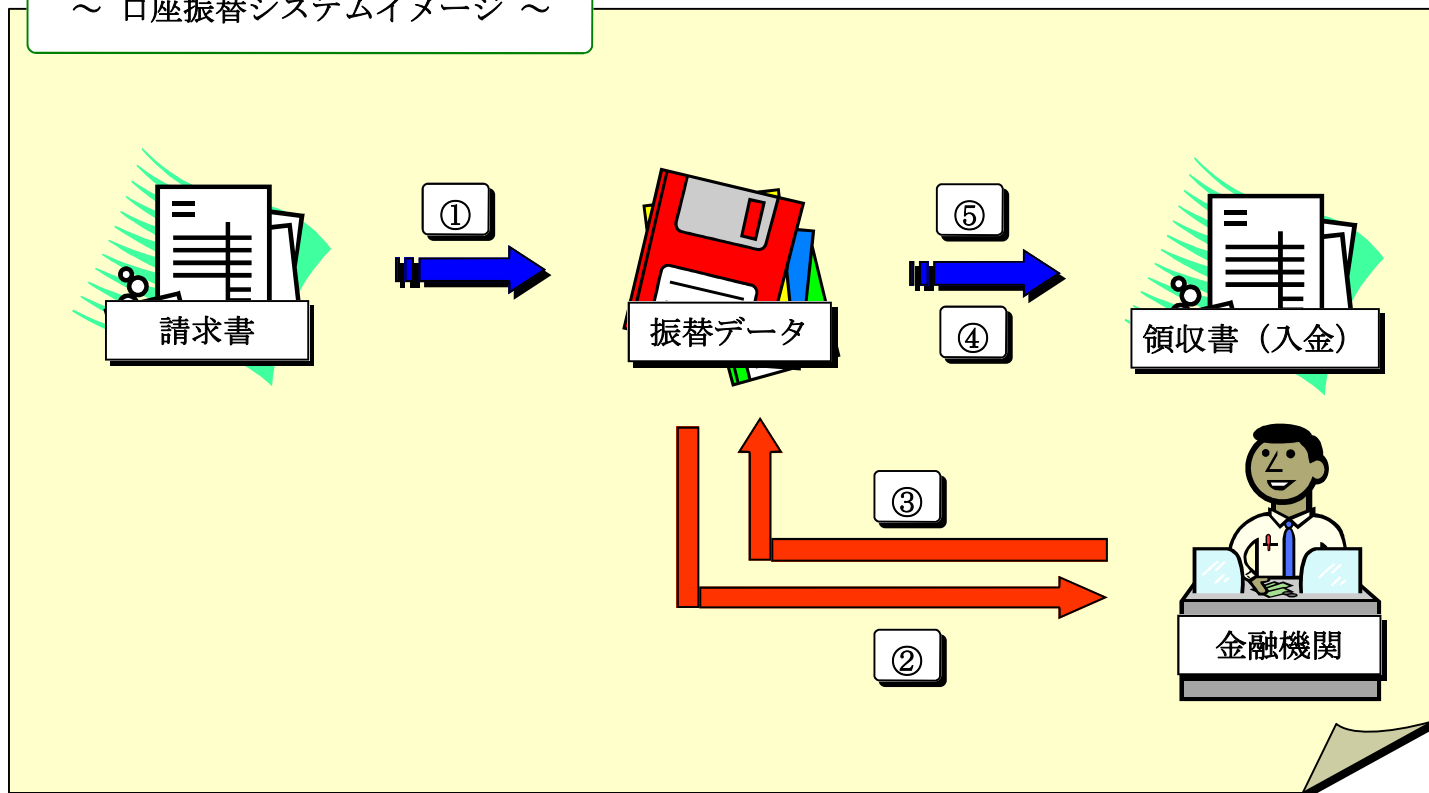
### 《 対応出力形式 》

①全銀協フォーマット

②郵便局標準フォーマット2

③全銀協フォーマット（口振くん）

### ～ 口座振替システムイメージ ～

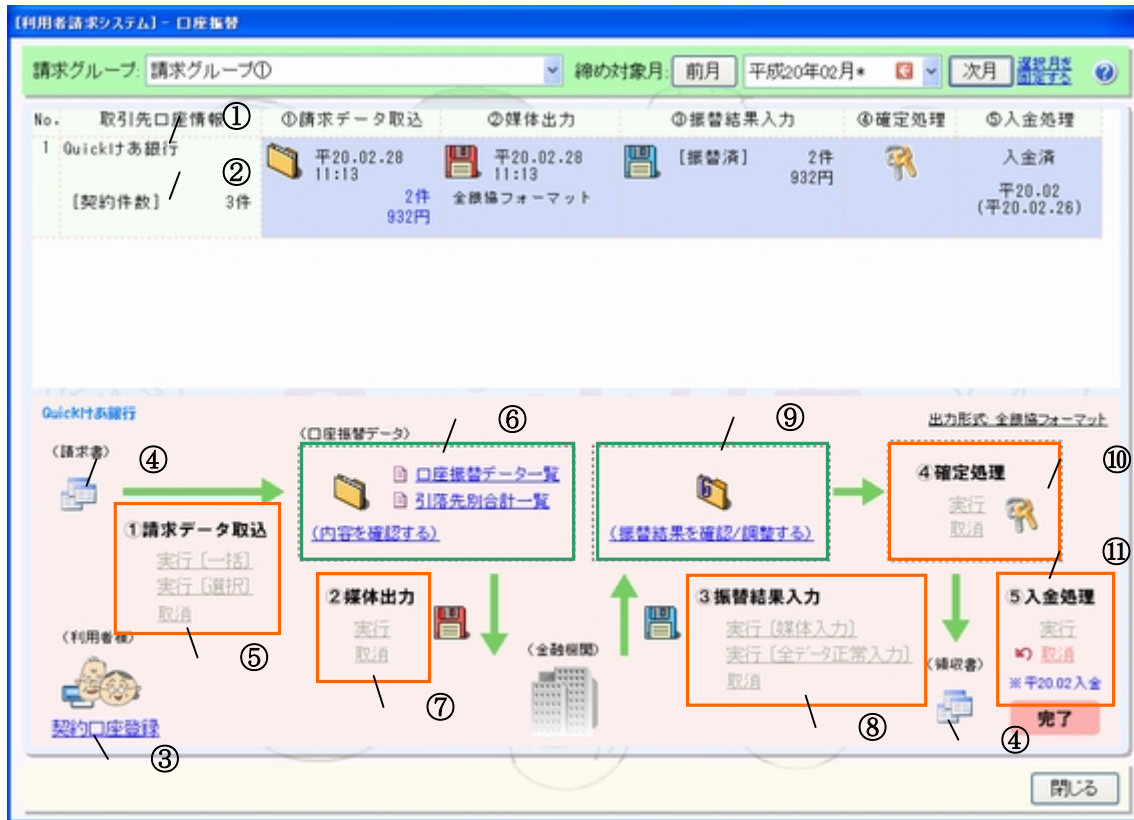


### 🔗項目説明

NO	処理	内容
①	請求データの取込	請求データから振替データを作成します。
②	媒体出力	作成した振替データを媒体（FD等）に出力します。
③	振込結果入力	振替結果を入力します。
④	確定処理	振替結果が入力された振替データを確定状態にします。
⑤	入金処理	振替結果を元に入金処理を行ないます。

## 2. 画面構成

### 2-1 口座振替メイン画面



### 項目説明

NO	項目名	説明
1	取引先口座	[メニュー]: 請求グループ->その他->『取引先口座』で登録した口座情報が表示されます。
2	契約件数	③契約口座登録で設定を行なった利用者の件数が表示されます。
3	契約口座登録	口座振替を行なう利用者を登録します。登録した利用者は②契約件数として表示されます。
4	リンク	当該画面の『請求書』『領収書』のアイコンをクリックすると、請求書/入金処理画面へ移動できます。
5	請求データ取込	契約対象者の請求データから振替データを作成します。
6	内容を確認する	作成された口座振替データの確認/編集が行えます。
7	媒体出力	作成された口座振替データを媒体 (FD等) へ出力します。
8	振替結果入力	金融機関から送られてきた振替結果を取り込みます。
9	振替結果確認/調整	振替結果の確認/調整が行えます。
10	確定処理	振替結果入力後、確定処理を行ないます。
11	入金処理	振替結果情報を元に入金処理を行ないます。

## 2-2画面関係図

口座振替システム：メイン画面は、以下の各画面と関連付けられています。

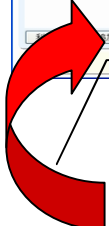
・利用者請求->その他->請求グループ->取引先口座

**(A) 取引先口座の設定**

**(B) 口座振替データ編集  
《作成情報変更》**

**(C) 契約口座登録**

利用者口座情報を契約口座に取り込みます。



・基本情報->利用者->疾病状況/その他

**(D) 利用者口座情報**

**(E) 口座振替データ編集  
《振替結果入力》**

### 3. 導入編

本章では、口座振替システム導入時に必要な設定内容を説明いたします。口座振替システム初回運用時には、下記導入手順に従ってマスタ登録を行って下さい。

#### ・導入手順

NO	マスタ登録	作業内容
①	(D) 利用者口座※	郵便または銀行の利用者口座の情報を登録します。
②	(A) 取引先口座※	口座振替を行なう事業主の取引先口座の情報を登録します。
③	(C) 契約口座※	(D) 利用者口座情報を元に口座振替を行なう対象者を登録します。

※マスタ登録のアルファベットは、2-2画面関係図を参照しています。

#### 3-1 利用者口座情報の登録

⇒[メニュー]：基本情報->利用者->利用者->疾病状況/その他->支払

◇利用者の郵便または銀行口座情報の登録を行ないます。複数の口座情報を登録する事も可能です。

#### ■ 注意

口座振替システムにて以下の処理を行なうと、処理内容によって当該口座情報の削除または変更ができなくなります。

- ◇ 契約口座の登録後・・・・・・・・・・・・・・・・・・口座情報の削除×／口座情報の変更○
- ◇ 口座振替データの作成後・・・・・・・・・・・・・・・・・・口座情報の削除×／口座情報の変更×

・基本情報->利用者->疾病状況/その他->支払->口座情報

『新規』より口座情報を登録します

■口座情報(互換用)の登録  
 口座振替システムで使用される口座情報は、上記赤枠の、『口座情報』となります。『口座情報(互換用)』は旧利用者請求システム用になりますので登録する必要はありません。

利用者口座区分には、『銀行口座』『郵便口座』の二種類があります。該当する『口座区分』にチェックを行い口座情報を登録してください。

### ■口座情報登録のポイント

登録した口座情報を口座振替で使用する場合は、『口座振替で使用する』にチェックを行って下さい。  
※チェックを行うと必須入力項目の背景がピンクで表示されます

#### (A) 銀行口座の場合

◇口座区分にて『銀行』を選択後、口座情報の各項目を入力してください。

利用者口座設定

口座区分:  銀行  郵便局  口座振替で使用する

金融機関名: Quickアお銀行

支店名: 博多支店

預金項目: 普通

口座番号: 4444433

口座名義人: コウサ' タロウ'

顧客番号: 1112222  
※口座振替データ作成時に必要な項目です

使用区分:  無効  有効

※口座振替データ作成済のため変更できません

閉じる

チェック!

[顧客番号]  
金融機関の指定に従って設定してください  
※指定がない場合は、全て『0』（20桁）を入力

#### (B) 郵便口座の場合

◇口座区分にて『郵便局』を選択後、口座情報の各項目を入力してください。

利用者口座設定

口座区分:  銀行  郵便局  口座振替で使用する

通帳記号: 12345 <口座振替用>: 234  
※通帳記号5桁のうち2,3,4桁の番号

口座番号: 12345678 <口座振替用>: 1234567  
※口座番号の下1桁を除いた番号

口座名義人: コウサ' タロウ'

使用区分:  無効  有効

設定 閉じる

チェック!

<入力例>  
通帳記号: 12345 ⇒ 口座振替用: 234  
(5桁↑) (真ん中3桁↑)

<入力例>  
通帳記号: 12345678 ⇒ 口座振替用: 1234567  
(8桁↑) (下1桁を除いた7桁)



### 3-2 取引先口座の登録

⇒[メニュー]：基本情報->利用者請求->その他->請求グループ->取引先口座

◇取引先口座の登録では、口座振替を行う事業主口座として下記情報を登録します。  
ここで登録された取引先口座が口座振替システム運用時の対象口座となります。

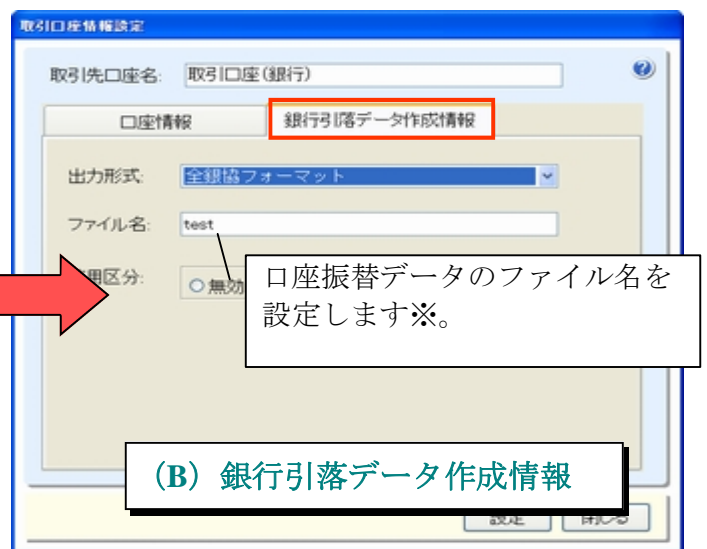
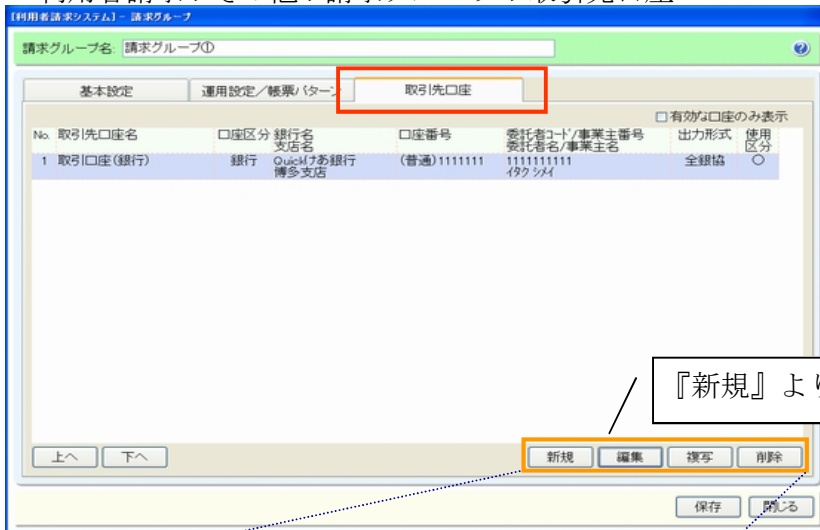
【登録項目】 ① 取引先口座の口座情報の登録 ② 銀行引落データ作成情報

**■ 注意**

口座振替システムにて以下の処理を行なうと、処理内容によって当該取引先口座の削除または変更ができなくなります（銀行引落作成情報の変更は可能です）。

- ◇ 契約口座登録後・・・・・・・・・・・・・・・・取引先口座の削除×/取引先口座の変更○
- ◇ 媒体出力後・・・・・・・・・・・・・・・・取引先口座の削除×/取引先口座の変更×

・利用者請求->その他->請求グループ->取引先口座



※ファイル名は金融機関によって異なります。金融機関の指定に合わせて設定して下さい。  
当画面で設定したファイル名は初期設定値になります。ファイル名は振替データ媒体出力時に変更する事ができます。

### 3-3 契約口座の登録

⇒[メニュー]：利用者請求->口座振替->契約口座登録

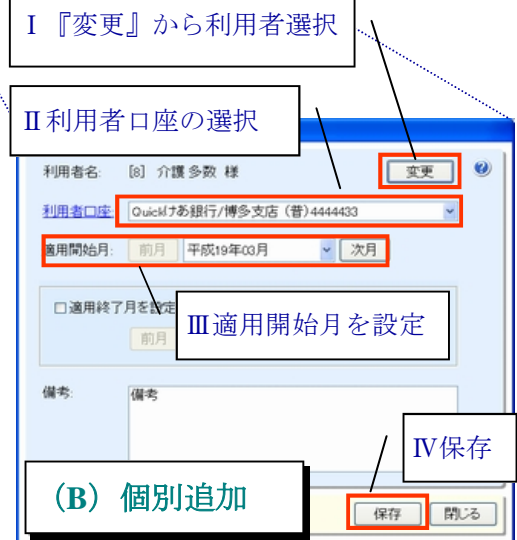
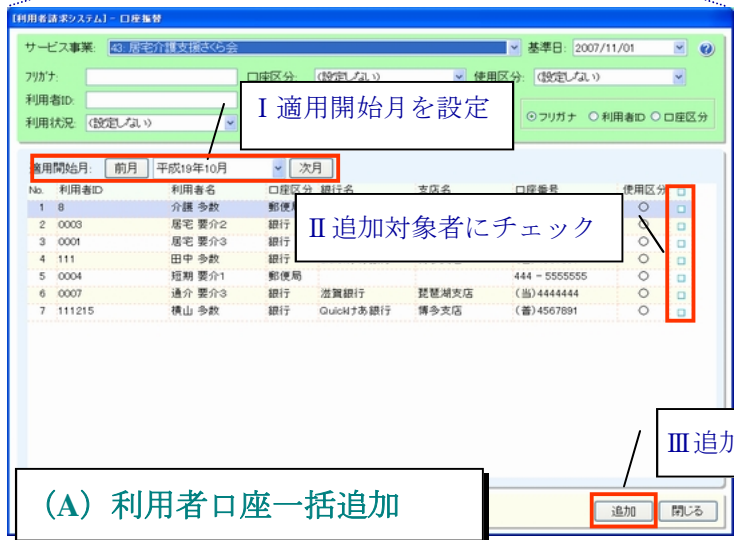
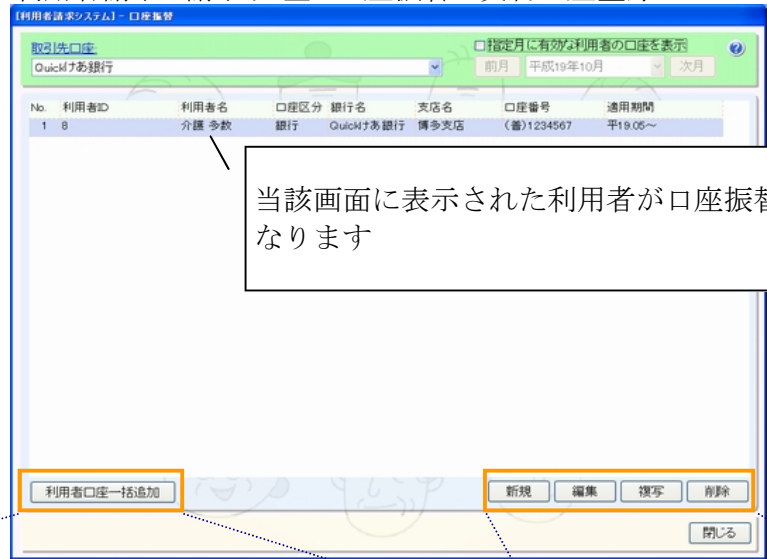
◇契約口座の登録では、利用者基本情報で設定された口座情報を元に口座振替対象者を各取引先口座に登録します。登録方法には以下の二通りがあります。※初回導入時は、(A)利用者口座一括追加が便利です。

**[ 契約口座登録時の注意 ]**  
 契約口座の登録は**口座振替を行う請求書を作成する前**に行ってください。  
 ※契約口座が登録されていない状態で口座振替を行う請求書を作成すると口座振替対象外請求書として設定されます。その場合は口座振替データ作成時（個別取込）にて口座振替対象外請求書として取込む必要があります。

・取込方法

NO	マスタ登録	作業内容
A	利用者口座一括追加	指定した適用開始月で利用者を一括登録します。
B	個別追加	個別登録を行います。その他『適用終了月の設定』や『備考』入力ができます。

・利用者請求->請求/入金->口座振替->契約口座登録





## 4. 運用編

本章では口座振替システム運用を下記の運用手順の流れに従って説明いたします。

### ・運用手順

NO	処理	内容
1	請求データの取込	請求データから振替データを作成します。
2	媒体出力	作成した振替データを媒体（FD等）に出力します。
3	振込結果入力	振替結果を入力します。
4	確定処理	振替結果入力後の振替データを確定状態にします。
5	入金処理	振替結果を元に入金処理を行ないます。

### 4-1 請求データの取込

◇取込作業では、作成済みの請求データから口座振替データを作成します。全額未入金の請求データが取込の対象となります。また、一部入金されている請求データは対象外となります。  
請求データの取込は下記の二種類から選択する事が出来ます。

#### ・取込方法

NO	項目	作業内容
①	実行〔一括〕	契約口座に登録されている利用者の請求データを一括で取込みます。
②	実行〔選択〕	契約口座に登録されている利用者から請求データを個別に取込みます。

#### ・利用者請求->請求/入金->口座振替

**■ 口座振替データ作成(取込)後の制限**  
口座振替にて請求書の取り込みが行われると、以下の作業に制限がかかります。  
<制限される作業>  
I. 口座振替で取り込んだ請求書に該当する利用料金集計データの更新/削除  
II. 口座振替で取り込んだ請求書の更新/削除

## ① 一括取込

◇契約口座に登録されている利用者の請求データを一括で取り込みます。設定後、『実行』を押下します。  
 ※初期未収金の取込みも行えますが、初期未収金は初期設定で口座振替対象外に設定されている為、②選択取込の(A)表示切替の「口座振替対象外請求書」より選択し、取込みを行ってください。

振替不能分の再振替を一括で行います

・新規コード

NO	項目名	説明
1	その他	過去から継続して引落を行なっている場合に設定します。
2	第1回引落分	第1回目（初回）の口座振替時に設定します。
3	変更分	利用者の契約口座番号等の変更があった場合に設定しますが、通常は個別に指定するため、当該画面では指定せず、個別編集で設定を行ってください※。

## [ 一括取込時の注意 ]

設定した『振替日』と『新規コード』の条件で全て取り込まれるため、新規コードが取込時の設定と異なる利用者がある場合は、振替データを作成した後、個別に編集する必要があります※。

※振替データの個別編集方法については、資料5-1振替データの個別編集をご参照ください。

## ② 選択取込

◇契約口座に登録されている利用者から、請求データを個別に選択し、取込みます。

## (A) 表示切替

## ■ 口座振替対象請求書

「3-3契約口座の設定」に登録済みで全額未入金請求書が表示されます。

## ■ 口座振替対象外請求書

上記条件に加え、(B)の処理により対象外に設定された請求書または初期未収金が表示されます。取込処理を行うことにより、口座振替対象請求書に変更されます。

## (B) 口座振替対象外に設定

口座振替から現金徴収へ変更する等の理由で口座振替を中止する場合に設定します。

※詳細は資料5-3「口座振替対象/口座振替対象外の設定」をご参照ください

## 4-2 媒体出力

◇「請求データ取込」より作成した『口座振替データ』を、媒体（FD等）へ出力します。

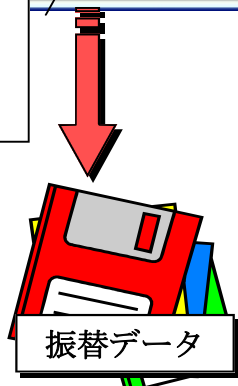
### ■媒体出力後の注意

口座振替データの媒体出力後は、媒体入力時のデータと整合性を保つ為に以下の処理が出来なくなります。  
振替データ提出後に媒体出力〔取消〕処理を行う場合は、以下の処理を極力行わないでください。以下の処理を行うと、「4-3振替結果の入力 (A) 媒体入力」時に不整合が起こります。

#### 【媒体出力後の注意】

- ①[上~/下~/]による口座振替データの並び替え      ②口座振替データの削除/編集(摘要以外)

・利用者請求->請求/入金->口座振替



#### <ファイル名の拡張子>

金融機関によって拡張子の指定がある場合は、ファイル名の設定で以下のように設定する必要があります。

- ・テキスト形式での提出 ⇒ (ファイルの名前).txt
- ・拡張子が不要の場合 ⇒ (ファイルの名前)

### 4-3 振替結果入力

◇提出した振替データが金融機関より返却された後、当該振替データに振替結果を入力します。  
本項目で行う作業内容は以下の通りです。

・作業内容

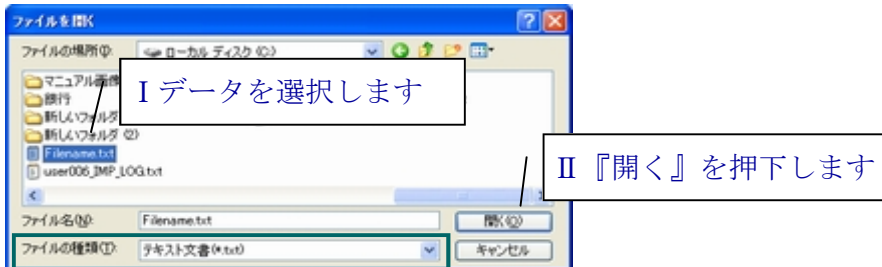
NO	作業内容	作業内容
①	実行〔媒体入力〕	(A)媒体（返却されたデータ）から振替結果を取り込みます。
②	実行〔全データ正常入力〕	(B)データ取込を必要とせず、振替結果を全て正常入力（全件振替済）します。 振替結果がデータではなく、紙ベースで返却される場合はこちらをご利用下さい。 ※全データ正常入力後、振替結果の変更が必要な場合は「振替結果を確認/調整する」から個別編集を行って下さい。

※振替結果正常入力後の振替結果の個別編集作業は、資料5-1 振替データの個別編集をご参照ください。

・利用者請求->請求/入金->口座振替

## ① 媒体入力の場合・・・

『媒体入力』を押下後下記画面が開きます。返却されたデータの参照先を下記画面より指定します。

**■ ファイルの種類**

上記サンプルではファイルの種類が『テキスト文書』が選択されていますが、通常は『すべてのファイル』が初期選択されており、拡張子がないファイルも表示されます。

## ② 全データ正常入力の場合・・・

振替結果が全て正常入力（全て振替済）された状態に設定されます。振替結果が正常でないデータがある場合は、個別編集より変更を行ってください。

※個別編集作業は、資料5-1 振替データの個別編集をご参照ください。



### 4-4 確定処理

◇振替結果入力処理が全て完了したら、振替データを『確定』状態にします。

#### ■確定処理後の状態

振替データの『確定処理』を行なうと、口座振替システムで以下の処理が可能になります。

【確定後に可能な処理】 ①入金処理 ② 振替不能分の翌月への再振替（繰越）

・利用者請求->請求/入金->口座振替

振替結果入力処理が完了したら  
確定処理にて『実行』を押下します

確定処理  
実行  
取消

入金処理  
実行  
取消

確定実行 前

振替結果が『確定』の  
状態になります。

確定処理  
実行  
取消

入金処理  
実行  
取消

確定実行 後



## 4-5 入金処理

- ◇全ての振替作業が完了したら、④確定処理された『振替結果』を元に入金処理を行ないます。  
 ※入金処理/入金取消は、同締め対象月において請求/入金->請求書/領収書作成が[確定]状態の場合、実行(入金)することができません。実行するには[確定]を解除[未確定]する必要があります。

### ■口座振替対象者の入金処理

口座振替システムで処理をされた請求書で振替結果が「振替済み」の請求書の『入金処理』は当該システムより行ないます。

[メニュー]: 利用者請求->請求/入金->請求書/領収書作成画面からの入金処理は出来ません。

※振替不能で次月以降に再振替を行わない請求書については、資料5-3「口座振替対象/口座振替対象外の設定」をご参照ください

### ・利用者請求->請求/入金->口座振替

I 実行を押下します

**<入金処理の取消！>**  
 口座振替システムより行った『入金処理』は、上記画面『取消』からのみ削除の事が出来ます。  
[メニュー]: 利用者請求->請求/入金->請求書/領収書作成の画面からは削除できません。

II 『実行』を押下すると、設定した締め対象月に入金が行われます

## 5. 補足

### 5-1 振替データの個別編集

◇作成した口座振替データは、口座振替処理の作業段階に応じた個別編集を行う事が可能です。

#### ・編集内容

NO	画面表示メニュー	編集可能な作業段階	作業内容
A	内容を確認する	①請求データ取込後	口座振替データの作成内容を編集します。
B	振替結果を確認/調整	③請求結果入力後	口座振替結果の入力/編集を行います。

#### ■ A 内容を確認する ～①請求データ取込後の操作～

#### ・編集内容

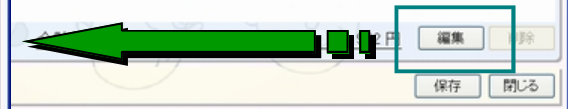
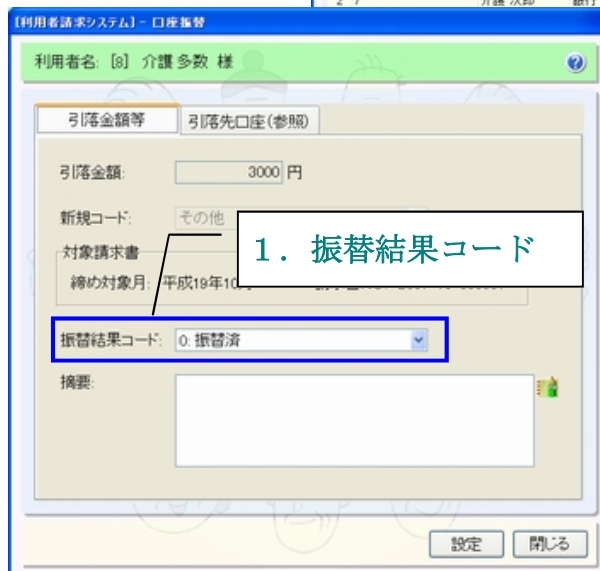
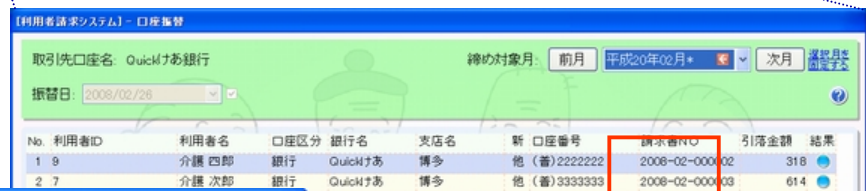
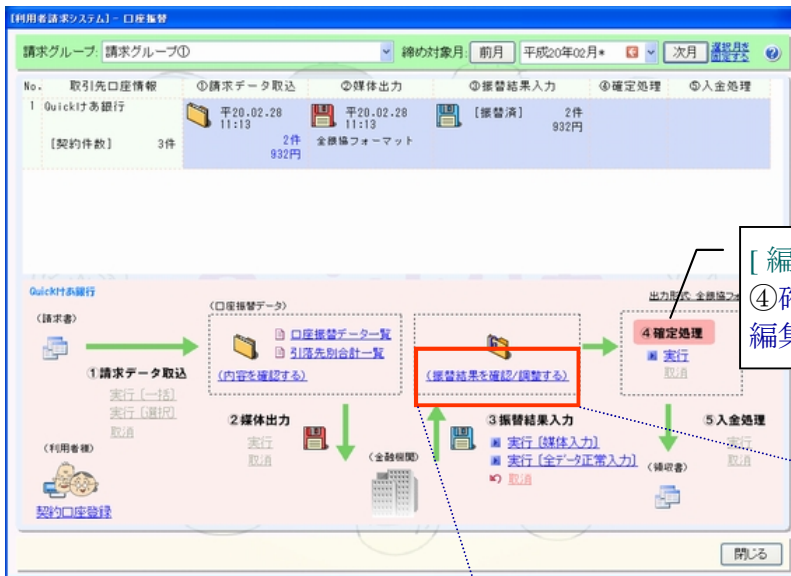
NO	編集可能な項目	編集内容
1	振替日	振替日の変更が行えます。
2	上へ/下へ	口座振替データの並び替えが行えます。
3	編集	「新規コード」の変更が行えます。
4	削除	口座振替データの削除が行えます。

The screenshot shows the '口座振替' (Direct Debit) management interface. It includes a main menu on the left with options like '請求データ取込' (Request Data Import) and '振替データ一覧' (Direct Debit Data List). The main area displays a list of direct debit entries with columns for 'No.', '利用者ID', '利用者名', '口座区分', '銀行名', and '支店名'. Below the list are buttons for '上へ' (Up), '下へ' (Down), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). A detailed view of a selected entry is shown on the right, with callouts for '振替日' (Direct Debit Date), '新規コード' (New Code), and '編集' (Edit). A '削除' (Delete) button is also visible at the bottom right of the detailed view.

■ B 振替結果を確認/調整する ～ ③振替結果入力後の操作 ～

・編集内容

NO	編集可能な項目	編集内容
1	振替結果コード	振替結果の設定を行います。



## 5-2 振替不能分の再振替

◇当月に口座振替が行われなかった(振替不能)場合、翌月以降の①請求データ取込から再振替を行う事が可能です。再振替の手順は以下の通りです。

⇒再振替操作の流れ

《 運用例 》 2月提供分の振替不能分を3月に再振替を行う

**③振替結果入力**

[振替済]	2件	932円
[振替不能]	1件	5,200円

2月の振替不能分

**実行〔一括〕**

**実行〔選択〕**

**I. 『振替不能分を取込む』にチェック**

**II. 実行を押下します**

No.	利用者ID	利用者名	請求書NO	請求額	金融機関名	口座番号	未振替	再振替
1	1	介護 太郎	2008-02-000004	5,200円	Quickナア/博多	(普)5555555	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

**I. 対象者にチェック**

**II. 実行を押下します**

## 5-3 口座振替対象/口座振替対象外の設定

### ■ 口座振替対象請求データの口座振替対象外への切替

◇口座振替の対象である請求データを、口座振替から現金徴収に変更する等の理由で中止する場合、以下の操作により、対象のデータを「口座振替対象外」に設定することで口座振替の対象から外れ、請求書/領収書作成画面から入金処理が行えるようになります。

※上記操作より、一度「口座振替対象外」の設定が行われた請求データを口座振替対象とする場合は、次ページの「口座振替対象外請求書の口座振替処理」をご参照下さい。

#### ・①請求データ取込：実行〔選択取込〕画面

I 対象者にチェック

II 『口座振替対象外に設定』を押下します。

口座振替対象外に設定

表示切替：口座振替対象請求書  
◇口座振替対象の請求データが表示されます

**■ポイント**  
口座振替対象に設定されている請求データは…

- ◆口座振替データが作成できます。
- ◆口座振替より入金処理を行います。
- ◆請求書/領収書作成画面から入金が行えません。

口座振替対象外に切替

『口座振替対象外に設定』を行う事で口座振替対象の請求データが口座振替対象外請求書に移動します

表示切替：口座振替対象外請求書  
◇口座振替対象外の請求データが表示されます

**■ポイント**  
口座振替対象外に設定されている請求データは…

- ◆口座振替データが作成できます。
- ◆口座振替から入金処理が行えます。
- ◆請求書/領収書作成画面から入金が行えます。

2007-10-000004      40,567円Quickけあ銀行/博多支店 (普)4444433      ○



## ■ 口座振替対象外請求書の口座振替処理

◇口座振替対象外請求書に設定された請求データは、①請求データ取込：実行〔一括取込〕から口座振替データを作成する事はできません。口座振替処理を行なう場合は当該画面《実行〔選択取込〕》から口座振替データの作成を行う必要があります。

※初期未収金は初期値が「口座振替対象外請求書」となっています。その為、口座振替を行なう場合は上記方法で処理する必要があります。

### ・①請求データ取込：実行〔選択取込〕画面

取引先口座名: 取引口座(銀行) 締め対象月: 平成19年11月  
振替日: 2007/10/30 新規コード: その他 表示切替: 口座振替対象外請求書

No.	利用者ID	利用者名	請求書NO	請求額	金融機関名	口座番号	新規	再振替
1	8	介護 多数	2007-03-000002	162,107円	Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
2			2007-04-000004	17,821円	Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
3			2007-05-000002	7,035,843円	Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
4			2007-06-000001	12,124円	Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
5			2007-08-000001	3,277円	Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
6			2007-10-000004	40,567円	Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433		<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

2007-10-000004 40,567円 Quickiけあ銀行/博多支店 (普)4444433

実行 閉じる

I 表示切替：口座振替対象外請求書を選択

II 対象者にチェックを入れます

III 実行を押下します

口座振替対象外請求書であつても口座振替を行うことは可能です。



### 5-4 旧口座情報からのデータ移行

◇旧利用者請求システムにて『銀行引落システム』をご使用されていた場合、利用者個人情報で登録済の口座情報（互換用）が『口座振替システム』で使用する『口座情報』画面へ自動的にデータの移行が行われます。

#### ■データ移行時の注意

口座振替に必要な項目に未設定項目がある場合、口座振替の対象口座として設定されません。

※データ移行はされますので、移行後、未設定項目を設定し「口座振替で使用する」にチェックを入れて下さい。

※顧客番号が未設定の場合は、20桁全て0の値が設定されます。

・基本情報->利用者->疾病状況/その他

- [ 移行対象 ]
- ・金融機関名
  - ・支店名
  - ・預金種目
  - ・口座番号
  - ・口座名義人
  - ・顧客番号

- [ 移行対象 ]
- ・通帳記号
  - ・口座番号
  - ・口座名義人

データ移行

口座登録画面

・銀行口座情報

・郵便局口座情報

[注意] 郵便口座情報の場合  
以下の桁数のものが移行されます

- ・通帳記号：5桁または3桁
- ・口座番号：7桁または8桁

[ 口座振替で使用する ]  
必須入力部分（背景ピンク）が正常値に設定されているもののみ自動でチェックが入り、口座振替システムでの運用が可能になります。